

# より豊かなライフスタイルの実現をめざして

NTT西日本とNTT東日本は、デジタルシネマ<sup>\*1</sup>の普及を目的に、次世代ネットワークNGNによる映画配信およびODS配信<sup>\*2</sup>における協業について、TOHOシネマズ株式会社および角川シネプレックス株式会社から合意を得ました。今後、NTT東西はデジタル上映設備を有する映画館にNGNを順次展開し、安定した映画配信を可能にするとともに、舞台あいさつや演劇のライブ配信など、ODS配信ができる環境を提供していきます。

※1 下図参照。  
 ※2 アメリカの映画興行主組合(NATO)において提唱された「映画以外のデジタルコンテンツ(Other Digital Stuff/Online Digital Source)」の映画館上映という概念。

## 協業までの経緯

DCI仕様<sup>\*3</sup>のデジタルシネマが世界標準となり、各国でデジタル化が進んでいることを受け、日本やハリウッドの映画会社などとのデジタルシネマ配信共同実験を経て、DCI仕様のデジタルシネマを高速光ファイバ網で配給から興行まで行う新たなサービスモデルの検討や技術検証を実施しました。

その結果、セキュリティ性の高いNGNを有するNTT東西は、映画上映のデジタル化に取り組むTOHOシネマズ、角川シネプレックスから、日本映画業界におけるデジタルシネマの普及を目的に、NGNによる映画配信、ODS配信における協業についてそれぞれ合意を得ました(P.32「デジタルシネマのこれまでの取り組み」参照)。

※3 ハリウッドのメジャー映画制作スタジオが設立した「DCI(Digital Cinema Initiatives)」で決定したデジタルシネマの映写および配給に関する技術仕様。ISO TC36で国際標準化。

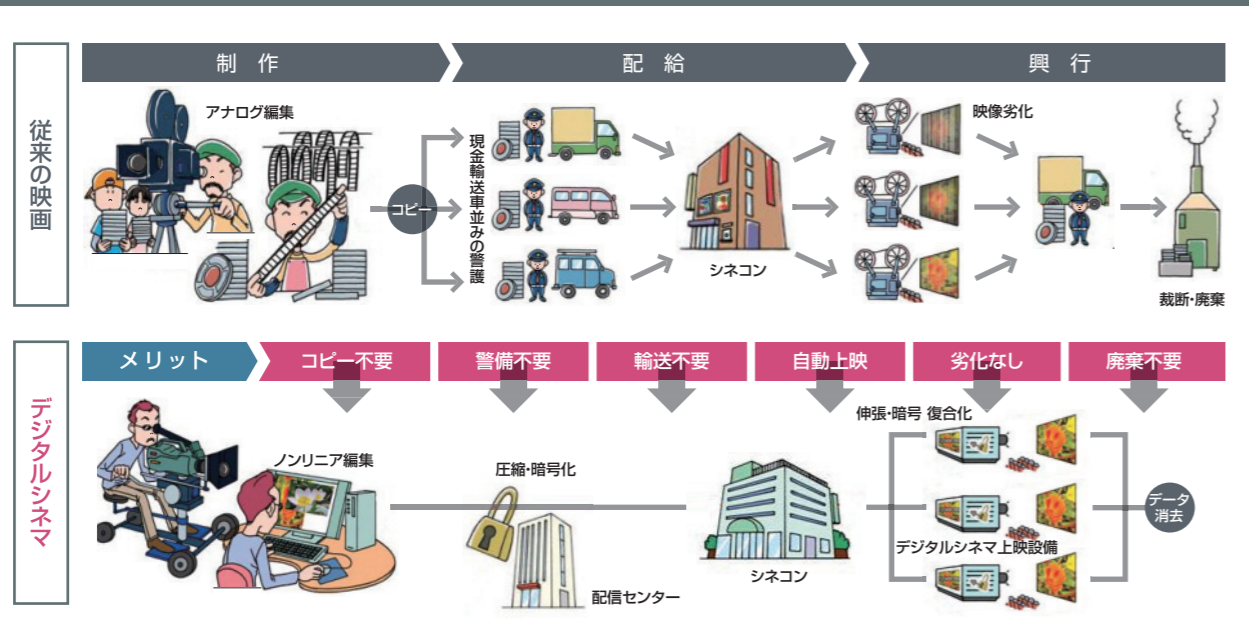
## NTTグループの役割

**NTT東西**  
 デジタル上映設備を保有する映画館に、NGNを順次展開していきます。また、NTT西日本の子会社であるNTTスマートコネクットのデータセンターと映画館をNGNで接続し、デジタルシネマ配信ネットワークを構築します。また、NTT西日本は、TOHOシネマズ、角川シネプレックスにデジタルシネマ配信運用にかかわる技術支援を行います。

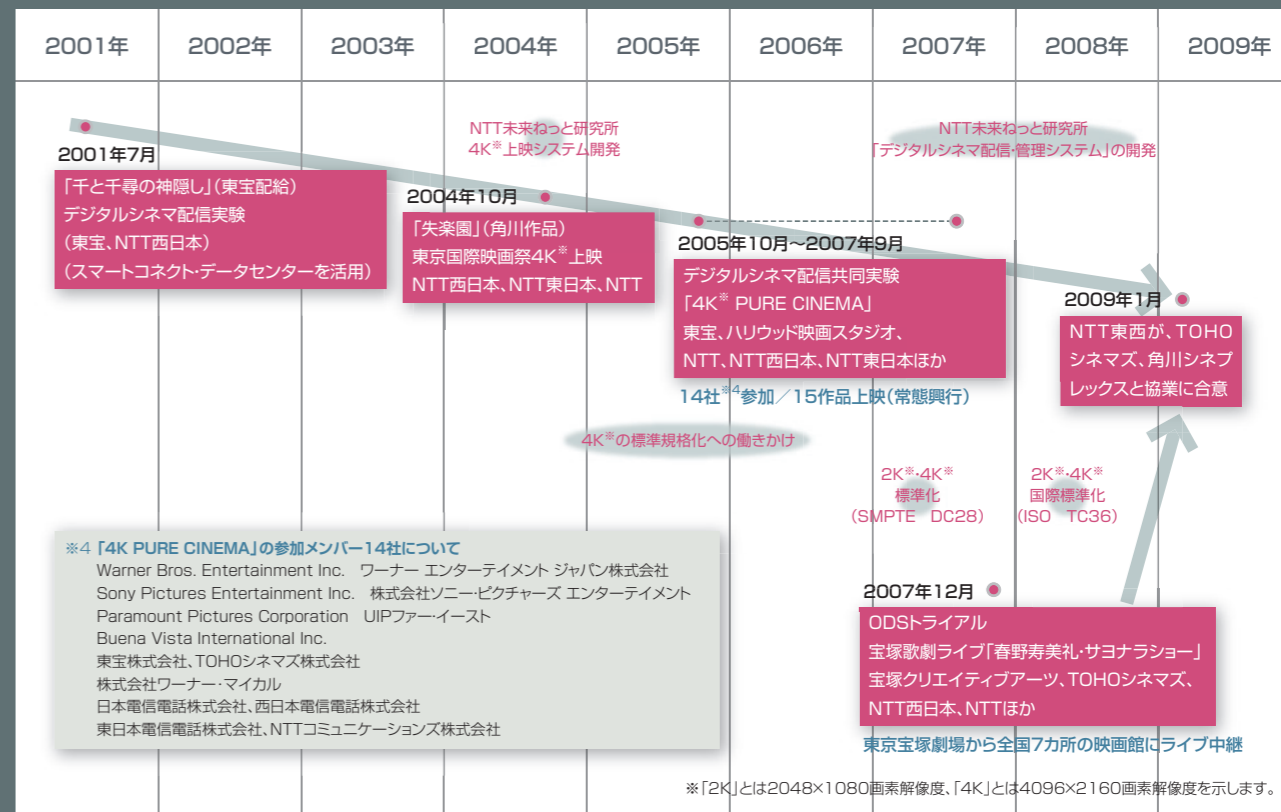
## NTTスマートコネクット

デジタルシネマ配信サービス「PURE CINEMA」を提供します。デジタルシネマ配信には、NTT未来ねっと研究所で開発された技術を基盤とした「デジタルシネマ配信・管理システム」を採用します。さらに、デジタルシネマ配信ネットワークを活用し、舞台あいさつ配信や演劇配信といったODS配信も行います。

▼デジタルシネマとは ～フィルム上映とデジタル上映の違い～



▼デジタルシネマのこれまでの取り組み



## NGNによるデジタルシネマ配信のメリット

NGNは従来の電話網が持つ信頼性・安定性を確保しながら、IPネットワークの利便性・経済性を備えた次世代の情報通信ネットワークです。NTTグループが世界に先駆けて実現したNGNにより、デジタルシネマ配信ネットワークを構築します。

### セキュリティ確保による映画配信

NGNは高いセキュリティを確保しており、安心・安全に映画ファイルを配信できます。これにより、映画業界にとって収益損失となる海賊版につながる流通時の不正コピーや盗難のリスクを回避できます。

### 品質確保による安定した配信

NGNにより安定した映画ファイルの配信、ODSコンテンツのライブ配信が可能となります。そのため、映画館来館者には千秋楽まで常に高品質な映像をご鑑賞いただくことができます。また、映画の3D上映や舞台あいさつ、演

劇のライブ配信など、映画以外のコンテンツも迫力のある大画面でご鑑賞いただけます。

### 環境へのメリット

NGNによるデジタルシネマ配信により、フィルムの製作、運送、廃棄という工程がなくなるため、CO<sub>2</sub>排出量削減につながり、地球環境にとってやさしい映画配給上映が可能で

### 今後の予定

NTT東西は、TOHOシネマズ、角川シネプレックスとともに、NGNを活用したデジタルシネマの配信、興行を推進することで、日本映画業界におけるフィルムからデジタルへの転換を加速させます。また、舞台あいさつや演劇の映画館へのライブ配信などの、ネットワークの高付加価値による新たな映画ビジネスモデルの立ち上げを行っていき、より豊かなライフスタイルの実現をめざします。